

令和五年度 東京都立美原高等学校卒業証書授与式 校長式辞

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

御来賓の皆様には、御臨席を賜り、このように盛大な卒業式を挙行できますこと、厚く御礼申し上げます。

また、保護者の皆様には、立派に成長されたお子様の晴れ姿を御覧になり、さぞ胸を熱くされているのではないかと拝察いたします。

お子様の御卒業を心からお慶び申し上げます。

本校、東京都立美原高等学校は、平成十七年四月、東京都立南高等学校と東京都立大森東高等学校が発展的に統合され、大森東高等学校の敷地に開校しました。母体校となった両校の特色を継承し、大田区で初めての全日制・普通科・単位制高校としての誕生でした。

創立時、本校の目指す学校像として「個性を伸ばし、自律心を育成する学校」「生徒の進路希望を実現する学校」「地域に根差した学校」の3点を掲げました。すなわち、『個性の伸長』、『進路実現』、『社会貢献』そしてそれらを結ぶ『自律共生』が本校教育目標の重要なキーワードです。

君たちが受けた様々な「授業」をはじめ、すべての学校活動はこの目標のもとに実施されてきました。そして今、君たちは『自立』の時を迎えるとともに、本校十七期生として立派に巣立とうとしています。

さて、みなさん、本校の校章は、幸運のシンボルである四つ葉と陽光で図案化したものですが、四つ葉のクローバーのクローバーとはどのような植物であるかご存知でしょうか。和名はシロツメクサ、ヨーロッパ原産のマメ科植物です。マメ科の特徴は、土地に養分が少なくてもよく育つことです。なぜならば自身の根の中で養分を作ってしまうからなのです。ただし、その根の中を注意深く観察すると根粒菌という別の微生物が住み着いていることがわかります。

すなわち、マメ科植物は光合成で得たエネルギーを根粒菌に与え、根粒菌は大気中の窒素から養分を合成し、マメ科植物に与えるというお互いにウインウインの関係が成立しているのです。

生物学用語ではこれを共に生きると書いて「共生」といいます。

まさに美原のクローバーは、自立と共生のシンボルということができるとい
う訳です。

さて、卒業生諸君。およそ、卒業式の意義は、先輩たちが、築いてくれた輝
かしい伝統を、しっかりと受け継ぎ、それをさらに発展させ、社会に貢献でき
るよう、自らに誓いを立てること。そしてこれまで君たちを支えてくれたすべ
ての皆様へ感謝することにあります。

創立より本校の卒業生は、すでに三千名を超え、諸先輩は、様々な分野で活
躍されています。君たちは、これに続き、未来を創造していく社会の一員とな
ります。一人ひとりの個性を大切にする本校で学んだことを誇りに、これから
の人生を歩んでください。

結びに、これまで卒業生と本校の教育活動に温かなご理解と御支援をいただ
きました多くの皆様に、心から感謝申し上げ、式辞といたします。

令和六年三月二日

東京都立美原高等学校長

亀崎 隆彦